



昭和大学歯学部だより

2024年9・10月号

通算第230号

旗ヶ岡祭が開催されました

＜学生部長 野中 直子＞

第64回旗ヶ岡祭が10月12日(土)、13日(日)に開催され、今回のテーマは「飛」でした。お天気に恵まれ、旗の台キャンパスは2日間にわたり賑わっていました。クラブによる模擬店や展示、中庭のステージでは応援指導部、軽音楽部、ダンス部、MASなどが出演し、観客の皆さんはステージに向かって割れんばかりの拍手と声援で、常に盛り上がっていました。上條講堂では、恒例の昭和大学名人会や芸能イベントが開催され、会場は笑いが絶えませんでした。学生生活の中で、学祭は思い出に残る行事のひとつで、主宰した実行委員の学生の皆さんをはじめ、参加者の気持ちがひとつとなった学祭でした。最後になりましたが、協賛いただいた企業や地域商店の皆様、準備等ご協力いただいた学生課はじめ大学職員の方々にお礼申し上げます。また12日(土)15時から、第17回ホームカミングデーが上條記念館で開催され、卒業後50年、25年、15年の皆様をご招待し、学部、世代を超え親睦を深めました。



IR担当者集会に参加しました

＜歯学部IR委員会 吉村 健太郎＞

令和6年9月5・6日に西南学院大学(福岡市)で開催された「大学評価・IR 担当者集会2024」に参加し、研修を受けました。IRとは Institutional Research の略で、各種データを収集・分析し、組織の意思決定や方針の改善を支援する業務です。一般に「大学 IR」といった場合、対象は学生教育・研究活動・大学経営など様々ですが、我々歯学部の使命は「入学者が全員ストレートで国家試験に合格」し、「卒業後それぞれの分野で活躍できる歯科医師」を育成することです。そのためには「学修成果の可視化」と「教育の質の維持・向上」が最も重要であると考えられます。本研修ではビッグデータの取り扱い、統計処理・仮説設定と適切な解析手法の選択などのデータサイエンスについて学びました。我々歯学部 IR 委員会は本学に蓄積されたデータを有効に活用し、皆様のお力になれるよう令和5年度より活動しております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

- P.1 【旗ヶ岡祭が開催されました】学生部長 野中 直子教授
【IR 担当者集会に参加しました】歯学部 IR 委員会 吉村 健太郎准教授
- P.2 【令和6年度大学院秋季修了式が行われました】歯学研究科長 高見 正道教授
【解剖慰霊祭が挙行されました】口腔解剖学講座 野中 直子教授
- P.3 【父兄会秋季部会が開催されました】教育委員長 船津 敬弘教授
【昭和大学教育者のためのワークショップアドバンスコースが開催されました】歯学教育推進室長 坂井 信裕教授
- P.4 【教育者のためのワークショップビギナーズコースが開催されました】歯学教育学講座 片岡 有准教授
【行事予定】 【編集後記】

令和 6 年度大学院秋季修了式が行われました

＜歯学研究科長 高見 正道＞

令和6年9月24日午後4時より、令和6年度大学院秋季修了式が昭和大学上條記念館において挙行されました。修了生はアカデミックガウンに身を包み、緊張した面持ちで式に臨みました。最初に久光学長より学位記が各研究科の代表に手渡されました。今回は、医学研究科20名、歯学研究科4名、薬学研究科7名に博士の学位が、保健医療学研究科2名に修士、3名に博士の学位が授与されました。

久光学長の告辞と小口理事長の祝辞に続いて各研究科長が挨拶し、歯学研究科長の私は「博士となられた皆さんは、将来、職場などで指導的な立場になるだろう。部下を指導する重要なポイントは、感情に任せて叱ったり指示したりするのではなく、よく考えて冷静に話すこと。皆さんが部下に好かれ尊敬される指導者になることを期待する。」と述べました。

昭和大学宣言と校歌斉唱の後、各修了者に研究科長から学位記が手渡され、記念撮影をおこないました。博士となられた修了生の皆さんのご活躍を大いに期待しています。



解剖慰霊祭が挙行されました

＜口腔解剖学講座 野中 直子＞

令和6年度解剖慰霊祭が10月15日(火)、昭和大学上條記念館においてしめやかに執り行われました。本年度慰霊されたご献体は、病理解剖または解剖実習のために供された方々で、歯学部解剖実習のためにご献体された20柱が含まれております。

解剖慰霊祭は、ご献体された故人の崇高なご遺志に敬意を表し、感謝するとともに、ご遺族の皆様をお招きし、故人を偲んでいただく式典です。開式の辞に続き、物故者へのご冥福を祈り黙祷が捧げられ、昭和大学を代表して医学部 解剖学講座 顕微解剖学部門の本田 一穂教授が祭文を捧げました、続いて医学部・歯学部の2年生の学生代表が弔辞を述べ、歯学部からは木村 昇平さんが、解剖実習で学ばせていただいた貴重な経験への感謝の気持ちと医療人になる心構えを御霊に誓いました。



最後に、久光正学長よりご遺族へのご挨拶が述べられ、大学関係者が祭壇前で献花し、続いて医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部の学生が献花を捧げ、故人のご冥福をお祈りし、閉式となりました。

父兄会秋季部会が開催されました

＜教育委員長 船津 敬弘＞

父兄会秋季部会が10月19日に開催されました。歯学部部会では、馬場歯学部長から勉強だけでなく、課外活動含めて大学生らしく過ごし、専門性の高い歯科医師を目指してほしいとの話がされました。高見大学院研究科長からは、卒後の可能性を拓ける大学院における学生の成長について紹介がされ、私からは指導担任や修学支援制度の活用について説明をしました。野中学生部長からは災害時の安否確認システム導入に関する説明と各学年の主任、副主任の紹介がありました。また、指導担任、修学支援担当教員と保護者との個別面談も行われ、ご家庭におけるご不安やご質問にも対応いたしました。面談終了後は上條記念館において、全学部合同で懇親会が開催され、教員と保護者間での情報交換が盛んに行われました。これからも保護者の方々のお力等添えをいただきながら、学生たちの大学生活が充実したものになるよう、教員一同精進したいと存じます。



昭和大学教育者のためのワークショップアドバンストコースが開催されました

＜歯学教育推進室長 坂井 信裕＞

2024年度医学・歯学・薬学・保健医療学教育者のためのワークショップアドバンストコースが8月1日(木)、2日(金)に、富士吉田キャンパスで開催されました。歯学部からの参加者は、弘中教授、高見教授、桑田教授、中納教授、鈴木教授、松田教授、古屋教授、マイヤース三恵准教授、高場准教授、山田准教授、タスクは馬場歯学部長、野中教授、美島教授、鯨岡助教と坂井でした。歯学部班のテーマは「歯学部新々カリキュラム全体構想の検討」について、2027年度から開講される鷺沼新キャンパスでのカリキュラム構成を視野に、6年次までのロードマップをイメージし、そのコンセプトを討議しました。2026年度1年次では歯学専門科目(解剖学、生理学、生化学)の一部の講義や解剖学実習を富士吉田で実施いたします。今後、2年次以降の新々カリキュラム編成も具体的な検討を行います。引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



教育者のためのワークショップビギナーズコースが開催されました

<歯学教育学講座 片岡 有>

去る8月25日～27日に「第14回教育者のためのワークショップビギナーズコース」が開催されました。歯学部からは宗像 源博先生(インプラント歯科学), 鈴木 啓之先生(口腔機能管理学), 菅井 琳太朗先生(保存修復学), 浦羽 真太郎先生(歯内治療学), および大谷 貴之先生(歯周病学)が参加しました。



本ワークショップは教育の質の向上と教育職員の教育能力向上を目的にし、ビギナーズコースではカリキュラムプランニングの基礎を修得します。それを基に昭和大学職員として「どのような医療人を育てたいのか?」、そして「どのような教育をすべきか?」を各グループに分かれて討議し発表しました。本学ならではの多職種の交流が活発になされ、チーム医療に結びつく学部連携教育についても深い議論がなされました。今回の開催場所が富士吉田キャンパスで、宿泊場所は学生寮でした。本学卒業生にとっては思い出深い懐かしい場所でノスタルジーな気持ちに包まれました。

行事予定

- 11月9日(土), 10日(日) 医療人教育演習(プレFD)
※令和6年度昭和大学大学院入学者対象(および未受講者)
- 11月15日(金) 創立記念日
- 11月17日(日) 4学部学校推薦型選抜入試・4学部卒業生推薦入試
- 11月30日(土) 第71回 昭和大学学士会総会

編集後記

厳しい残暑も終わり、秋が始まりました。しかしながら今年は、10月に入っても夏日の気温が記録されており、なかなか衣替えのタイミングが難しいです。季節の変わり目ですので、ご体調どうかご自愛ください。お忙しい中、ご寄稿くださいました先生方に心より感謝申し上げます。 <中村>